

団体名 南城市立知念中学校	連絡先 TEL : 098-948-1303 Eメール : chichu-kyoutou@du.city.nanjo.okinawa.jp
------------------	--

1 実践事項 (①)

タイトル : 「 地域人材と教育資材の活用・地域との連携及び交流活動 」

(1) 地域人材の活用 (2) 地域教育資源の活用 (3) 地域との連携・交流活動

2 実践内容

(1) 地域人材の活用

① 【朝の読み聞かせ】

・地域の保護者や関係者を募り、毎月1回朝の読み聞かせを実施した。

② 【総合学習における講話】

・社会人講話(2年総合)、職業人講話(1年総合)において、本校OBや地元の企業に勤める方々が社会人としての心構えやその職業の魅力等を生徒達に伝え、生徒の質問等にも答えた。

③ 【学習支援ボランティア】

・放課後の自学自習において学習の支援ができる地域のボランティアを募集している。

(2) 地域教育資源の活用

① 【総合学習における課題解決型学習】

・2学年総合学習において企業型PBL(商品開発)講話を実施し、地元の産業における課題について伝え、生徒達に具体的な取組について考えさせる学習を行った。

② 【1学年・第1次産業体験】

・地域の農業や水産業の方達の協力の下、生徒達が体験学習を3日間行った。

③ 【2学年・職場体験】

・地域の企業やお店、消防署等の協力の下、生徒達が体験学習を3日間行った。

④ 【総合文化発表会における伝統芸能、知名ヌーバレーの披露】

・地域の伝統芸能の1つである知名ヌーバレーに携わる生徒達が、その演目を全校生徒及びその保護者関係者に披露した。

⑤ 【平和教育講話】

・沖縄戦禍で翻弄された知念に住むある一族の戦争体験について、平和教育担当教員が昨年引き続き講話を行った。

(3) 地域との連携・交流活動

① 【海野ハーリーへの参加】

・学校行事として全校生徒が地域のハーリー行事に参加し、地元の人たちと交流したりハーリーの文化を楽しんで体験することができた。

② 小中各字児童会・生徒会

・夏休み前に地区ごとに小学生、中学生とその区長さんたちが集まり、区長さんを中心に地域で行う夏休みの計画を立てた。

③ 環境教育の日ワークショップ

・生徒達が自分の住む地域においてゴミが捨てられている箇所をクロームブックで写真を撮り、その問題について地域ごとに生徒達が集まり問題解決に向けて話し合った。また地域ごとの環境問題とその解決策の案をお互いにシェアすることができた。

3 説明資料（写真、グラフ、図、表など）



朝の読み聞かせ



社会人講話 1



社会人講話 2



職業人講話



企業型 PBL 講話



平和教育講話



小中各字生徒会



第1次産業体験



職場体験



海野ハーリー



知名区ヌーパレー



環境の日ワークショップ

4 成果

- ・地域人材を活用することにより、さまざまな課題を身近なものとしてとらえ、学習したり体験することができた。また多くの地域の方に学校に足を運んでもらい、地域と共にある学校として学校の取組を理解し協働してもらう良い機会になった。
- ・地域行事へ参加することで、地域文化に親しみ、地域文化を尊重し守ろうとする意識を向上させることができた。
- ・総合学習ではキャリア教育の観点から①社会人としての心構え、②将来を見据えた計画的な進路へのアプローチ、③自分で目標を定め、その目標に向かって課題を達成していく自主的主体的な学びの意義な等、自己実現ための要点を学ぶことができた。

5 課題

- ・将来を見据えて自主的及び計画的に課題に向かう力が弱い生徒がいるので、自分で計画を立てて実行するためのキャリアノートを導入し始めている。
- ・自主的主体的な学びの支援として、自学自習のためのタブレットドリル（クロムブックで自分のレベルに合わせてできるドリル）を推奨しているが、さらなる活性化が必要である。
- ・放課後自学自習の時間を設け、学習支援ボランティアを地域の方に募集しているが、なかなか集まらないので教師がローテーションで見守りしていく予定である。